

六甲アイランドだより

地域広報紙

2020年1月8日(水)発行
自治会報 第89号

発行人 實光 良夫
編集 自治会 広報部
発行者 六甲アイランドCITY自治会
神戸市東灘区向洋町中2丁目8番地
TEL (078) 857-7375 FAX (078) 857-7376
H.P=http://www.ric.jp/
Mail=ric-jichikai@ricv.zaq.ne.jp
印刷 (株)甲南堂

新年のごあいさつ

實光会長

年号が令和になった初めての新年、あけましておめでとうございませう。

六甲アイランドCITY自治会に今年から仲間が増えました。シーフォレスト神戸・ルネ・六甲アイランドCITY(268戸)の住民の皆様です。美しいこのまちに新しく仲間を迎えたことを嬉しく思います。

自治会ではこのマンションが、平成30年に入居が始まったことから、W30と呼ぶことにしました。住民の皆様にはよろしくお願ひします。

開発の歴史を紐解くと、ウエスト30番街は第2次事業コンプレの地域にあり(図面参照)、レジャー施設(AOIA)が開業しましたが、阪神・淡路大震災で被災し閉鎖となり、その跡を神戸市が買い戻しました。また大部分が未利用地として残っています。また、第3次事業コンプレで建てられたファッションプラザは、島内に事業所を持つ大栄環境株式会社が購入しました。

六甲アイランドのまちづくりは第4次事業コンプレまで完了しています。しかしまちの中心部の商業地域は、一部の土地を神戸市が期限を定めて賃貸している状況で、令和12年夏ごろまでには、順次契約が終了する状況にあります。

開発当初のコンセプト、「誰もが住みやすくなる街、そして誰



もが行きたくなる街」を引き継いだ、事業として成り立つまちづくりが完成することを願っています。

柏井副会長

住民の皆様からの、地域に関わる様々な問合せに対応する「六アイ情報・交流センター」は今年で丸5年目を迎えます。開設以来、約2.4万人が訪れ、約50名のボランティアが、①RICバーベキュー広場の予約受付、②ごみ出しお手伝いの申込受付、③神戸ファッショニング美術館での住民創作作品の展示、④不用品交換・ボランティア募集のマッチングなど、様々な窓口対応に当たっていただいています。

情報・交流センターの運営を担当する「まちかどネット」では今年、新しく仲間に加わったW30街区住民向けのまちあるきツアーなどを継続的に実施する予定です。新旧の住民同士が六甲アイランドにある様々な資源の実相を発見することを通じて、地域との関係性をより深め、住みやすいまち・六甲アイランドを築くことに努めたいと思います。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

宮脇副会長

今年こそは災害のない1年になるよう祈っています。
1995年1月17日に阪神・淡路大震災が起り、その16年後に東日本大震災が起り、さらには、熊本地震、大阪北部地震



北海道胆振東部地震が立て続けに起り、その間に西日本豪雨、台風21号による高潮被害があり、昨年は台風19号が関東広域に甚大な被害をもたらしました。地震発生は年々頻度を高め、異常気象による災害は激甚化しています。
しかし私たちは、こうした経験から多くを学びました。災害データの蓄積は精緻な防災計画を生み、訓練の繰り返しで減災を確実にします。
来る1月17日。皆様には追悼のひとときのあとシエイクアウト訓練を行い、お住まいの街区の防災訓練にご参加ください。どうぞよろしくお願ひします。



副会長 宮脇 貴栄 会長 實光 良夫 副会長 柏井 敏介

3月15日 六甲アイランドCITY地域防災訓練 生活安全部

1995年1月17日午前5時46分。震度7の激震が神戸を襲い、多くの命が奪われました。あの日から今年で25年。「希望の灯り」を見るたび、「幸せを運べるように」を歌うたび、思っています。私たちは、あの震災に何を学んだのかと。

自治会では「防災の手引き」を全戸に配布すると共に、「六甲アイランドCITY災害対策本部マニュアル」を作成し、神戸市ホームページの「神戸市地域防災計画と水防計画」に掲載しています。この災害対策本部マニュアルに基づいて、各街区防災担当者の方々と長く全戸一斉防災訓練に取り組み、手応えを確認した3年前から、シテイヒル東緑地で応急給水訓練を行っています。

災害にはさまざまな形があります。現在、発生がもつとも危ぶまれているのは南海トラフ巨大地震です。これは、震源地でM9.0であれば、東灘区では震度6弱となります。立っていることは難しく、固定していない家具は移動し、方向によっては倒れる震度です。ご自宅の家具は固定されていますか?いま一度、ご確認ください。

南海トラフ地震が発生すれば、太平洋側はもとより大阪湾岸沿いでも広域にわたって津波被害が起り、停電となって水は止まり、救援も望めません。ご家庭に、ひとり1日3リットルの水を最低で3日分、できれば10日分を備えてください。食糧もしっかり備蓄の仕方は、ローリングストック法がよいでしょう。

震災直後の混乱の収束が見込まれる4日目以降に自治会対策本部(給水班)が中心となって、住民による自主運営を前提とした災害時給水拠点【大容量貯水槽(600t)を埋設したシテイヒル東緑地】に緊急給水施設を立ち上げます。その後、島外からの救援が得られる迄の10日間、住民同士で協力して給水活動を続けます。設備貯水容量の600m³は、ひとり1日に必要とされる3リットルの飲料水を、島内住民および一時避難者を含めた2万人に10日間供給できる水の量だとされており、昨年9月の訓練時には、設備供給能力の確認を行いました。

給水活動における自治会対策本部の役割は、水を求める人に公平且つ円滑、継続的に給水することですが、給水ルールを定めぬまま震災となれば、島内約9千戸の住民の多くが一斉に応急給水施設に殺到して大混乱となり、円滑な給水活動ができなくなるおそれがあります。それを防ぐ給水ルールの確立のため、自治会では今後、給水拠点から各街区への配給方法「及び、各街区内での各戸への配給方法」について具体的な検討に入っていきます。防災担当者、街区理事会の皆様には、3月15日の給水訓練にご参加ください。



2020年1月～12月 六甲アイランドCITY自治会 主要スケジュール

2020年1月8日時点

2020年 1月

- 17日(金) 第10回 全戸一斉防災訓練
- 19日(日) 第11回 阪神・淡路大震災メモリアルウォーク&ラン
- 25日(土) 定例役員会



2月

- 15日(土) 防災担当者会議
- 22日(土) 定例役員会



3月

- 15日(日) 地域防災訓練
- 22日(日) チューリップ祭り (3/22日～4/5日)
- 28日(土) 定例役員会
- 29日(日) シティヒルウォーク

4月

- 18日(土) 防災担当者会議
- 25日(土) 定例役員会



5月

- 9日(土) 第9回六甲アイランドパラ祭り (5/9日～24日)
- 23日(土) 定例役員会
- 31日(日) 春のクリーン大作戦 (集合 9:15)

6月

- 14日(日) 第28期 総代会
- 23日(火) セタ列車 (6/23日～7/7日) 島内小学校2年生対象
- 27日(土) 定例役員会



7月

- 12日(日) 第1回夏祭り説明会
- 18日(土) 防災担当者会議
- 19日(日) ラジオ体操説明会 街路灯点検
- 25日(土) 定例役員会
- 調整中 前期ラジオ体操 (日程は学校の夏休みを考慮)

8月

- 2日(日) 第2回夏祭り説明会
- 調整中 後期ラジオ体操 (日程は学校の夏休みを考慮)
- 22日(土) 定例役員会
- 23日(日) 第3回夏祭り説明会(1部・2部)
- 29日(土) 第33回 RICサマーイベント・カーニバル

9月

- 5日(土) 夏祭り慰労会
- 12日(土) 防災担当者会議
- 26日(土) 定例役員会
- 27日(日) 文化フェスティバル出演者向け説明会

10月

- 5日(月) 自治懇(住民自治組織代表者と区長との懇談会)
- 17日(土) 防災担当者会議
- 24日(土) 定例役員会



11月

- 8日(日) 文化フェスティバルサポート委員会
- 15日(日) 第18回文化フェスティバル
- 21日(土) 防災担当者会議
- 28日(土) 定例役員会
- 29日(日) 秋のクリーン大作戦 (集合 9:15)

12月

- 6日(日) 街路灯点検
- 19日(土) 定例役員会 防災担当者会議
- 28日(月) 年末自衛警戒 (12/28日～30日)



*注) 予定ですので変更される場合もあります。

編集後記

神戸ファッションマート北東角のイチヨウ、隣合わせでこんなにも紅葉に差がありました。昔はほぼ一斉に紅葉したような記憶がありますが、今年はその差が激しいように思われます。これも、異常気象の影響でしょうか？



お問い合わせ先
六甲アイランドCITY自治会 (RICふれあい会館) 広報部まで
TEL 857-7375
FAX 857-7376
E-MAIL ric-jichikai@riev.zaq.ne.jp

本は人をつなぐ

RICミニライブラリー

わが街の愛称が付く「図書館」は昨年5月に開館22年を迎えた。住民数名による「おはなし会」が1994年2月に「夕焼け文庫」になり、1997年5月に住民+企業+行政の三者協働によるRICコミュニティライブラリーに発展する。またその活動は神戸市教育委員会学校施設開放事業にある「市民図書室」として位置づけもされている。地域連携係にお話を聞くと、神戸市内の学校施設外で唯一の「市民図書室」であり、規模及び運営も最も充実していると評価された。

- *蔵書4万冊
- *月平均開館日数21日
- *登録者数2087人
- *1日平均貸出者数74人
- *1日平均貸出冊数261冊
- (いずれも2019年10月末現在)

銀杏並木が眩しく光を放つ朝、ライブラリーの「おはようミーティング」に其処彼処から弾むような足取りでボランティア達が集まってくる。ほとんどが女性の中、配られた議題に沿ってミーティングが進められる。ミーティング終了後、取材の目的を話し、まず「作業の手順」はどのよう

に共有されているのかを軽く質問した時のことだ。

「ricさん」

と目の前のテーブルに置かれたのは、作業

手順が書かれた分厚い「業務マニュアル」と、詳細な書き込みのある連絡ノート4、5冊。ボランティアスタッフは「業務マニュアル」をすべて読み込むことが必須となる。手順の変更があれば随時マニュアルを改訂する。開設以来続けてきた方法だ。また、総勢32名のボランティアが情報共有の元として大切にしている「連絡ノート」は、具体的な案件だけが綴られているのではない。その余白には来館者への思いが書き加えられていると感じた。

その活動は直近の実績が示すように充実した内容であることは明らかである。しかし今、いくつかの課題に直面しているように見受けられた。来館者へのデジタル蔵書データベースの提供や公立図書館との連携などである。でも、他の地域を解決できる多様性を備えた住民が多くいることも忘れて欲しくない。

22年間静かに枝を広げ誠実に葉を茂らせてきた「大樹」を決して枯れさせはしない。
(取材：広報部 高木政幸)

